

投稿規定

(2019 年 11 月制定)

1. 筆頭著者および責任著者（重複可）は、日本菌根菌財団会員に限る。ただし、本誌編集委員会（以下、委員会）において必要と認めるときは、会員外から寄稿を受けることができる。
2. 投稿原稿の内容は菌根菌に関連ある未発表のものとする。原稿の区分は、①論文（論説および総説を含む）、②研究ノート・短報、③資料の3種類とする。なお、投稿原稿は和文か英文に限る。
 - (1) 論文の内容は、新しい結果と結論あるいは事実を含むと認められるものとする。
 - (2) 研究ノート・短報とは、論文として十分な結論を得るに至らないが、限定された部分の知見や速報的なものである。その区分は委員会が決定する。
 - (3) 資料とは、文献抄録、実用記事などを指し、委員会が寄稿を依頼することがある。
3. 投稿の手続きは、次のようにする。

投稿原稿（図・表のファイルを含む）は Word 形式の電子ファイルとして編集事務局（mycorrhiza-office@jmff.jp）までメール添付で送信する。なお、送信時の件名は「JMF 投稿（著者名）」とする。

編集事務局は、投稿メールの受信後、原則として 3 日以内に受信確認メールを返信する。この受信確認メールの送信をもって、投稿受付完了とみなす。投稿原稿が編集事務局に到着した日を受付日、審査が終了して掲載が決定した日を受理日とする。
4. 投稿原稿は、次の手続きを経て、採否、区分を決定する。
 - (1) 論文、研究ノート・短報は、審査（査読者 2 名制により査読付論文としての採否の判定を行う）に回し、その意見を基にして採否、区分を決める。
 - (2) 委員会は、原稿の内容などについて投稿者に訂正を求めることがある。
 - (3) 受理された原稿は、委員会が訂正を求めた箇所以外に、委員会の承諾なしに変更を加えてはならない。やむを得ず変更する必要がある場合は委員会の承諾の下、修正原稿においてその変更箇所がわかるように明示する。
5. 論文の掲載は、審査終了の順によることを原則とする。
6. 校正は、原則として初校だけ著者が行う。校正中の原稿改変は原則として認めない。委員会の了解による改変であっても、要する経費は著者の負担とする。校正ゲラは指定の期日以内に、手許に保管の原稿によって校正して返送する。期日に遅れた場合は、委員会の校正をもって校了とすることがある。
7. 掲載論文、研究ノート・短報については、著者の希望があれば PDF ファイルを進呈する。
8. 本誌に掲載された記事の著作権は一般財団法人日本菌根菌財団に帰属する。
9. その他必要な事項は、委員会が決める。

執筆要領

(2019 年 11 月制定)

1. 投稿原稿は、Word 形式の電子ファイルにより作成する。その際、A4 用紙（縦長）印刷とし、上 2.4 cm、下 2 cm、左 2 cm、右 2 cm のマージンを空けて、1 行 40 字で 35 行とする。その際、頁

ごとに下部中央の余白部分に頁番号を記しておく。

2. 原稿の第 1 頁には表題、著者名、所属・所在地、第 2 頁に要約を記す。

(1) 第 1 頁上部に以下を書く。

論文種別：論文、研究ノート・短報、資料のうち希望する区分刷り上がり時の奇数頁ヘッダー：著者姓（共著者は・でつなぐ）：略表題（25 字以内）

(2) 和文の表題、著者名、所属・所在地の次に、英文でそれぞれ記す。英単語の頭文字は大文字にするが、文頭以外の冠詞や前置詞、接続詞は小文字とする。

(3) 表題は、簡潔で内容を具体的にあらわすものとする。

(4) 共著の場合、著者名を・(中ポツ) でつなぎ並べる。責任著者には、氏名の右肩に* (アスタリスク) を付ける。また、脚注に責任著者名とメールアドレスを記載する。共著者間で所属が異なる場合、所属ごとで氏名の右肩に 1 から順に数字を付ける。所属と所在地は左肩に該当する数字をつけて改行して並べる。なお、研究実施時からあと移動があった場合は右肩に**を付し、現所属を脚注に記す。

(5) 論文、研究ノート・短報では、150 語以内で要約を入れる。

3. 論文、研究ノート・短報の本文は、原則として、要約、緒言、材料および方法、結果、考察（結果および考察としてもよい）、謝辞（記載する場合）、引用文献の順に記載する。英文原稿も和文原稿と同様に記載すること。

4. 文中の単位、数字、式などは次のようにする。

(1) 単位は原則として国際単位系 (SI) とする。

(2) 数字は、原則としてアラビア数字を用い、千単位のコンマは付けない。

(3) 文章中の式は、 $(a+b) / (c+d)$ のようにする。

5. 図表は次のようにする。

(1) 分かりやすい図表にすること。画像は高解像度の鮮明なものを用いること。

(2) 図表は、第 1 図、第 1 表のように通し番号を付す。

(3) 図の説明文は図の下に、表の説明文は表の上を書く。

6. 注および文献は次のようにする。

(1) 注は出現順に、文献は著者名の ABC 順に並べ、番号を付けて記載する。

(2) 文献は、以下のとおりとする。

(和文のとき)

1. 松原陽一、原田 隆、八鍬利郎. 1994. 各種野菜実生の生長に及ぼす VA 菌根菌接種の影響. 園学雑 63: 619-628.

2. 小川 眞. 1986. 共生微生物の機能と作物の生育. 微生物と農業. 全国農村教育協会. 東京.
(英文のとき)

3. Matsubara, Y. and Harada, T. 1998. Relation between pectic substances and arbuscular mycorrhizal fungus infection in three vegetable crops. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 67: 180-184.